

# 令和元年度事業報告書

一般社団法人 日本消防放水器具工業会

## 第1 総 則 会員の動向

区 分	年度当初の会員数	退 会	入 会	令和2年3月末現在数
正 会 員	19	0	0	19
賛 助 会 員	11	1	0	10
計	30	1	0	29

※光消防機材株式会社 退会による

## 第2 総会及び理事会

### 1 定時総会

第26回定時総会が、令和元年5月23日、東京都港区元赤坂「明治記念館」において開催され、次の議案が審議され承認された。

第1号議案 平成30年度事業報告書（案）の件

第2号議案 平成30年度収支決算書（案）の件

第3号議案 令和元年度事業計画書（案）の件

第4号議案 令和元年度収支予算書（案）の件

その他

1. 事務局報告

### 2 臨時総会

第24回臨時総会が、令和元年9月6日神奈川県箱根湯本「箱根パークス吉野」において開催され、次の議案が可決承認された。

第1号議案 令和元年度(4月～8月)総会・理事会及び委員会等の活動報告の件

その他

1. 令和元年度調査研究事業の報告
2. 自主表示・品質評価・認定等の受検実績報告
3. 事務局報告

### 3 理事会

(1)第1回理事会が、平成31年4月26日、東京都千代田区「東京国際フォーラム会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。

協議事項 1 平成31年度予算(案)の件

協議事項 2 平成31年度事業計画（案）の件

その他（報告事項等）

- ① 平成30年度工業会会長表彰の件
- ② 総会スケジュール及び懇親会の招待者について
- ③ 技術委員会議事録（案）について

- ④ 研究施設一般公開について
- ⑤ 認定委員会委員交代について
- ⑥ 全国消防機器協会からの情報

(2) 第2回理事会が、令和元年5月17日、東京都千代田区「東京国際フォーラム会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。

協議事項1 平成30年度事業報告案及び平成30年度収支決算書(案)の件

協議事項2 令和元年度事業計画案及び令和元年度収支予算案の件

協議事項3 定時総会開催資料の件

協議事項4 平成31年度長官表彰者推薦の件

その他(報告事項等)

① 第60回業務懇談会の件

② 第24回臨時総会の件

③ 全国消防機器協会から情報

○平成から令和への変更について

会長より、現在資料等に使用されている「平成」を「令和」に変更する旨の案が出され承認された。なお該当する資料等は、次の2件とされた。

- ・「事業計画関連の平成31年度を令和元年へ」
- ・「工業会会長表彰関連の平成30年度を令和元年度へ」

(3) 第3回理事会が、令和元年7月19日、東京都千代田区「東京国際フォーラム会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。

審議に先立ち事務局より、故・辻井達也氏に対し、本工業会の慶弔金規程に基づき生花・香典・弔慰金の手続きを行い、会長および事務局長が、通夜・告別式に参列した旨の報告があった。

協議事項1 令和元年度長官表彰者推薦の件

協議事項2 特許の審査請求期限に関する件

その他(報告事項等)

① 技術委員会報告の件

② 消火栓機能向上に関する研究の件

③ 全国消防機器協会からの情報提供の件

(4) 第4回理事会が令和元年12月10日、東京都港区「新橋田中・田村ビル会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。

協議事項1 令和元年度上半期収支報告書(案)の件

その他(報告事項等)

① 臨時総会の総括の件

② 光消防機材 株式会社 会社整理の件

③ 災害時におけるスタンドパイプの有用性についての件

④ 理事・役員改選の件

⑤ 消火栓機能向上研究委員会報告

⑥ ホース工業会との合同委員会報告

⑦ 特許出願に関する件

⑧ 令和2年度一般公開への協力について

⑨ 全国消防機器協会の情報

(5) 第5回理事会が令和2年2月27日、東京都千代田区「東京国際フォーラム 会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。

協議事項1 令和2年度予算(案)の件

協議事項2 令和2年度全国消防機器協会会長表彰者推薦の件

- 協議事項 3 第25回臨時総会開催の件
- 協議事項 4 総会時のマイナンバーカードに関する説明の件
- 協議事項 5 認定委員会の書記決定の経緯の件  
2019年4月に遡り、太田信幸氏を認定委員会書記とすることを承認した。
- 協議事項 6 業務委員会報告の件
- その他（報告事項等）
  - ① 次期役員（理事・監事）について
  - ② 一般公開の協力について
  - ③ 消火栓機能向上研究委員会報告
  - ④ ホース工業会との合同委員会報告
  - ⑤ 全国消防機器協会からの連絡事項

(6) 第6回理事会が令和2年3月26日、東京都千代田区「東京国際フォーラム 会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。

- 協議事項 1 定時総会等の開催の件  
新型コロナウイルス感染者急増に対処するため、総会を書面決議とし、表彰式、懇親会は中止とした。
- 協議事項 2 令和2年度予算(案)の件
- 協議事項 3 令和2年度事業計画(案)の件
- 協議事項 4 令和2年度工業会会長表彰推薦候補者(案)の件
- 協議事項 5 認定委員会の審査員高齢化における対策の件
- その他（報告事項等）
  - ①送水口認定の別機関への移行可能性について
  - ②総会・表彰式の進行及び懇親会の招待リストについて
  - ③臨時総会スケジュールについて
  - ④消火栓機能向上研究委員会報告
  - ⑤一般公開・業務懇談会の中止のお知らせ
  - ⑥全国消防機器協会からの情報

### 第3 事業・業務概要

#### 1 認定及び審査関連業務

- (1) 送水口の型式、個別等の認定申請書の授受、立会い検査、認定委員会開催、認定証票の交付等の業務を行った。
- (2) 採水口の型式、個別等の自主認定申請書の授受、立会い検査、認定委員会開催、適合証票の交付等の業務を行った。
- (3) 既設消火栓のホース互換性確認審査は、書面審査に係る相談を受理した。
- (4) アスピレートノズルの技術審査の申請は1件であった。
- (5) 令和元年度の認定型式及び個別認定等の実施状況は、次のとおりであった。

実施状況表（令和元年4月～令和2年3月）

区分	認定の区別	登録認定 (送水口)	自主認定 (採水口)
型式認定	(件数)	1	1
型式変更認定	(件数)	0	0
個別認定	(個数)	9, 193	1, 569
軽変更	(件数)	0	0

#### 2 品質評価等の関連業務

- (1) 遠隔地会員の総務大臣に対する消防用結合金具の自主表示届出申請及び受領、送付等の業務を行った。本業務については、令和1年度の届出手続きは5件であった。

- (2) 日本消防検定協会が行う消火栓の認定業務、品質評価に係る諸問題についても、検定協会業務企画室及び消火・消防設備課と随時協議を行った。また、消防機器等に関する研修会も東京と大阪で開催され、積極的に会員の参加を図った。

### 3 管理関連業務

易操作性 1 号消火栓の表示シール「緑」の申込み受付、発送等の業務を行った。

### 4 会員との意見交換、情報提供等

#### (1) 情報提供

消防庁が発行する「消防白書」、「通知」、「案内」及び日本消防検定協会が発行する「検定協会だより」、「検定時報」、「通知」、「案内」並びに(一財)日本消防設備安全センターの発行する「月刊フェスク」、「通知」、「案内」等関係機関、関係団体、関係工業会の資料、情報等を会員に配布した。

#### (2) 功労者の表彰

- ① 令和元年度秋黄綬褒章を、大澤正裕氏 ((株)建設工業社) が受章した。
- ② 令和元年度消防関係業界功労者表彰 (消防庁長官表彰) は、中辻則男氏 ((株)横井製作所) 及び米田政文氏 ((株)立売堀製作所) の 2 氏が受賞した。
- ③ 令和元年度消防機器等関係者表彰 ((一社)全国消防機器協会会長表彰) は、瀬崎克己氏 ((株)立売堀製作所)、横川学氏 ((株)建設工業社)、石松秀範氏 ((株)横井製作所) 及び倉田康史氏 (キンパイ商事(株)) の 4 氏が受賞した。
- ④ 令和元年度 (一社) 日本消防放水器具工業会会長表彰は、田中浩治氏、福山潤嗣氏 (以上(株)立売堀製作所)、池田行啓氏 ((株)建設工業社)、小山幸誉氏 (東京サイレン(株))、菅谷崇之氏 (ヤマトプロテック(株))、寺本健氏、西崎陽子氏 (以上(株)横井製作所) 及び紅山佳一郎氏 (YONE(株)) の 8 名が受賞した。

#### (3) 品質表示

技術委員会及び業務委員会において、設置後の消火栓内の結合金具や接続器具等を交換する際の認証のあり方について意見交換を行った。

#### (4) 親睦、講演会等

定時総会、臨時総会、研修会等において会員相互の意見、情報交換を行い、親睦を深めた。

## 第 4 関係機関、関係団体との連絡、協力

### 1 消防庁及び東京消防庁等との連絡、協力

- (1) 消防庁、東京消防庁及び国土交通省が主催する会議へ出席するとともに、通知、資料等は、その都度会員に通知し、趣旨の徹底を図った。
- (2) 消防庁の実施した春秋 2 回の全国火災予防運動では、その実施に先立ち予防運動の高揚を図った。
- (3) 消防庁に届出する「自主表示対象機械器具等表示一覧表」を届出された会員へ個別に発送した。

### 2 日本消防検定協会との連絡、協力

- (1) 日本消防検定協会が主催する消防機器業務懇談会 (平成 31 年 4 月、明治記念館) に出席し、検定協会からは重点事業の説明、工業会からは各団体の事業計画等の説明がなされ関連する諸問題について意見交換を行った。
- (2) 日本消防検定協会からの通知、連絡事項及び資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。

### 3 一般財団法人日本消防設備安全センターとの連絡、協力

- (1) 消火栓等開閉弁の認定業務に対する連絡、情報交換及び消防製品 PL センター業務の推

進に協力した。

- (2) 日本消防設備安全センターからの通知、連絡事項及び資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。
- (3) 消防設備の経年劣化に対応した点検方法等検討会に参画し、情報の提供を行った。

#### 4 一般社団法人 全国消防機器協会との連絡、協力

- (1) (一社)全国消防機器協会からの通知、連絡事項および資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。
- (2) 褒章、消防関係業界功労者表彰(消防庁長官表彰)、消防機器等関係者表彰((一社)全国消防機器協会会長表彰)の上申等に当たり綿密に連携し各々の表彰受章に寄与した。
- (3) (一社)全国消防機器協会に設置されている社会貢献委員会及び消防機器等製品情報センターの運営会議に出席し消防設備に関する研修会への情報提供を行った。

#### 5 関係工業会との連絡、協力

- (1) (一社)全国消防機器協会主催の事務局長会議等において各工業会との情報交換を行った。
- (2) 自主表示届出番号制度、屋内消火栓用の交換ホースについて(一社)日本消防ホース工業会とその他(一社)日本消火装置工業会と屋内消火栓設備等で随時協議し情報交換を行った。

### 第5 調査研究

#### 1 アスピレートノズル付広範囲型2号消火栓の啓蒙活動

消火能力が優れているとされるアスピレートノズルを、広範囲型2号消火栓の標準ノズルと位置づけし普及すべく啓蒙活動を実施した。

- (1) 放水時の使いやすさや放水反力の少なさを体験いただくために、科学技術週間における試験施設の一般公開において、広範囲型2号消火栓の展示および放水体験を実施した。

#### 2 保形ホースの経年劣化における調査

日本消防ホース工業会と合同で、保形ホースの互換性を加味した交換方法、点検基準改正への手順、交換を促す啓蒙活動の内容及び時期等を協議した。

- (1) 保形ホースの点検基準改正への促進

改正の根拠となる保形ホースの劣化調査を行うために、防火対象物に20年以上設置された屋内消火栓から保形ホースのサンプリングを行い、当該ホースの耐圧試験、物性試験等の性状に関する劣化状況の取り纏めを行った。

#### 3 新たに機能を向上させた屋外消火栓の研究・開発

技術委員会の下に消火栓機能向上研究委員会を組織し、一般財団法人日本消防設備安全センターの助成金を受け、新たに機能を向上させた屋外消火栓の研究・開発を行った。令和元年度は、試作機を作成し、性能評価をすべく、モニタリング実験を行った。